

OMS

東急東横線沿線に新媒体 低層居住エリアがターゲット

屋外広告のメディアブ
ランニング業務を行う㈱
OOHメディア・ソリュー
ション(OMS、本社
東京、林朗子社長)は、
このほど繁華街コンパ
クトネットワークボード
「Eyesight Net
work Board
(アイサイト ネット

ワークボード)」を開発
販売している。
この媒体は、東急東横
線(2014年1月現
在、中目黒、祐天寺、学
芸大学、都立大学、自由
が丘駅の5駅)沿線の低
層居住エリアを対象と
し、駅利用者や、商店街
歩行者をターゲットに、

視認性の良いロケーションに設置した初の屋外ネットワークボード。

掲出方法は、壁面にポスターを貼付けるのではなく、あらかじめ取付けたアルミフレームに、出力したシートを差込むクイックジップ方式(シートは塩ビターポリン)を採用。

媒体サイズは、1・8(田)×2・4(ワ)び(縦横比は3対4)の9面。掲出期間は4週間。掲出料は350万円(媒体料、印

刷費、取付
け作業費を
含む)。

同社担当

者は、以前
から新規メ
ディア開発
プロジェクトとして、
街をメデア
ア化し、ジ
ヤック感を
演出できる
使い勝手の

良い媒体の開発に取組んできた。第一弾として、既存媒体が少なく、ラゲジュアリーなイメージのある東急東横線沿線に、全箇所新規交渉によりボードを設置した。いずれも低い目線位置にあり、生活者の動線を意識し、

「アイサイトネットワークボード」
掲出イメージ(山手通り中目黒駅付近)



日用品や買い物周りをターゲットにする広告主の
販促につながるものと位
置付けている」と話す。

【問い合わせ】㈱OOH
メディア・ソリューション(☎03・5720・
2700)